

## 平成22年度第2回小平市図書館協議会要録

- 1 日時 平成22年7月22日(木) 午後2時～4時30分
- 2 会場 中央図書館会議室
- 3 出席者 図書館協議会委員：11人(1人欠席) 傍聴者：1人  
事務局：中央図書館長、館長補佐兼庶務係長、館長補佐兼調査係長  
サービス係長、資料係長、小川西町図書館長  
計6人
- 4 配布資料 資料は省略させていただきます。
- 5 議事
  - (1) 報告事項
    - ① 図書館運営状況について
      - ・図書館行事等の報告と今後の予定について(資料No.1)  
(これまでの報告)
        - 5月27日 読み聞かせ実践講座 第2回 中央図書館
        - 6月2日 第十二小学校ボランティア講座 修理講習 上宿図書館
        - 6月3日 読み聞かせ実践講座 第3回 中央図書館
        - 6月4日 第七小学校1年3クラスおはなし会 大沼図書館職員
        - 6月8日 蔵書点検 ～11日 花小金井、小川西町、喜平図書館
        - 6月9日 鈴木小学校読み聞かせ(20分休み) 中央図書館職員
        - 6月12日 スライド講座「リンドグレーンの作品の地を訪ねて」池田正孝氏  
(子ども文庫連絡協議会・図書館主催事業) 中央図書館
        - 6月14日 蔵書点検 ～18日 中央図書館、各分室
        - 6月20日 おはなし会「父の日スペシャル」 喜平図書館
        - 6月22日 蔵書点検 ～25日 仲町、上宿、津田、大沼図書館
        - 6月28日 学校図書館ボランティアスキルアップ講座(ボランティア交流会)  
中央図書館職員
        - 7月1日 第四小学校(読み聞かせとブックトーク) 1年生3クラス  
中央図書館職員
        - 7月8日 大人のためのおはなし会 津田図書館  
上水中学校(ブックトーク) 1年全クラス 中央図書館職員・  
児童担当職員
        - 7月9日 学校図書館ボランティアスキルアップ講座  
(第八小学校) 中央図書館職員
        - 7月13日 学園東小学校(ブックトーク) 1年2クラス 中央図書館職員
        - 7月16日 第七小学校2年3クラスおはなし会 大沼図書館職員
        - 7月17日 国民読書年事業 小平市立図書館35周年記念展示「講演会の樹」  
～10月20日

(今後の予定)

- 7月25日 夏休み家族一日図書館員 中央図書館・地区図書館 予定
- 7月27日 小学生調べ方教室① 中央図書館 予定
- 7月28日 静岡県島田市議会議員行政視察 中央図書館 予定
- 7月31日 子ども文庫連絡協議会講演会 工藤直子氏 中央図書館 予定
- 8月 3日 小学生調べ方教室② 中央図書館 予定
- 8月10日 インターンシップ学生受入れ ～16日首都大学東京、  
～23日創価大学、駿河台大学、明星大学 予定
- 8月23日 夏休み図書館ボランティア体験講座 ～26日 中央図書館 予定
- 8月26日 「夜のおはなし会」中央図書館 予定
- 9月 4日 汚破損本展示 ～12日 大沼図書館 予定
- 9月 8日 児童文学紀行講座①「絵本で旅するイギリス」中央図書館 予定
- 9月15日 児童文学紀行講座②「絵本で旅するイギリス」中央図書館 予定
- 9月16日 第3回図書館協議会 予定

② 蔵書点検結果について（資料No.2）

- ・今年度も3期に分けて行った。
- ・昨年度から臨時休館の日数を減らした。
- ・所蔵資料数1,196,239点で、2,359点の不明資料が見つかった。昨年度に比較して、新規不明資料数が減った。

③ 市議会6月定例会について

- ・図書館に直接かかわる一般質問はなかった。関連として音声テープとCDの利用状況に関する質問と地上デジタル放送の受信障害についての質問があった。
- ・生活文教委員会の所管事務調査で学校図書館支援事業について報告を行った。

④ 実習生の受入れについて

- ・インターンシップ学生の受入れ 4人
- ・図書館実習生の受入れ 2人

⑤ 仲町公民館・仲町図書館建替えに係る方針について（資料No.3-1、3-2、3-3）

- ・6月1日から30日の期間で実施されたパブリックコメントでは、40人、4団体から意見・要望が90件寄せられ、今後の基本設計、管理・運営に関するものが約7割を占めた。これらの意見に対する対応状況は、一部反映を含む反映が14件。一部参考を含む参考が64件。反映しないが12件となった。
- ・方針の大きな変更はないが、文言を3か所訂正した。
- ・方針の概要は、図書館と公民館の合築施設として建替える。基本コンセプトは人と情報の出会いの場とする。建設敷地は仲町図書館敷地とする。消防団第3分団詰所は移転し更新する。現在の仲町公民館の敷地は売却する。仲町図書館は学校図書館との連携推進館となる。地下1階、地上4階を想定している。基本設計の業者は公募型のプロポーザル方式を採用し、7月15日から募集をする。平成23年3月までに基本設計を完成させる予定となっている。

＜報告に対する質疑・応答＞

- 委員：24時間型貸出しをロッカー方式で行うというが、閉館時というのはいつからいつまでか。
- 事務局：閉館してから、次の開館までである。
- 委員：ロッカーには鍵があるのか。
- 事務局：ダイヤル方式になると思う。利用者から貸出しの申し込みがあった場合、暗証番号等をお知らせしてロッカーを開けていただく。
- 委員：図書館が閉まってからでも、ロッカーから本を取れるのか。
- 事務局：取ることができる。
- 委員：ロッカーはいくつくらい設置する予定か。
- 事務局：置き場所や利用状況によっても異なるが、今現在個数は決めていない。
- 委員：予約数が多いとロッカーが足りなくなってしまう場合もあるのか。
- 事務局：数によっては先着順ということもあるかもしれない。
- 委員：現状の仲町図書館の利用状況はカバーできるのか。
- 事務局：市民一人当たりの貸出し冊数が、小平市よりも多い稲城市の図書館での利用状況はあまり多くないと聞いているので、それほど多くいらんと思っている。
- 委員：稲城市でロッカーが壊されたということはないのか。
- 事務局：そのような話は聞いている。
- 委員：改築中、仲町図書館の資料はどうするのか。
- 事務局：保管場所等については現在検討中である。
- 委員：蔵書点検での不明資料の内訳はわかるのか。
- 事務局：分類別や個別にどの本かということはあるが、不明本が、新刊かどうかという仕分けはしていない。
- 委員：分類別などで仕分けをすれば、対策の取り方も変わってくるのではないか。
- 委員：新刊本に100円プラスでICタグがつけられると聞いた。西東京市でゲートを付けただけで効果があったという。新刊本につけて音を出してみてもどうか。
- 事務局：仲町図書館ではICタグを必ず付けるということになった。他館でも進めていきたいとは思っているが、課題となっている。
- 委員：電子書籍への対応はどうか。
- 事務局：考慮に入れながら考えていかなければならない。
- 委員：学校図書館支援事業について、協力員の欠員が出ているがどうしてか。
- 事務局：家庭の事情、本人の健康状態の理由で辞めた方がいたため欠員を補充した。
- 委員：ブックトークや読み聞かせは要望が多いと思うが、実施の体制はどうなっているのか。
- 事務局：中央図書館・地区館の児童担当、中央図書館のサービス係で手分けをして体制を組んでいる。
- 委員：小学校の中には、図書館ボランティアが多くいて活動が盛んなところは市の図書館から職員の派遣を受けなくても大丈夫なところもある。
- 委員：仲町図書館の建替えに際してICタグを導入するようになれば、ゲートに導入するだけではなく、人や本の動きまで調べることができれば新しい図書館の姿を探求できるのではないか。また、インターネット回線を図書館内全部に、配線できる環境にしておくことが必要である。

- 委員：1つのものに特化せず、いろいろな媒体のものに対応できるようにしてほしい。
- 委員：電子媒体に対応する専門のセクションを作っておいたほうがいい。設備などは特に事前に対応していかななくてはならないので、プロジェクトなどを作ってはどうか。
- 委員：仲町図書館の建替えに伴う蔵書の廃棄が始まったと聞いたがどうか。
- 事務局：本の選別を行い他館への移管を少しずつ行っている。
- 委員：仲町図書館の特徴である多摩版の切抜きやタウン誌の収集は休館中はどうなるのか。
- 事務局：他の館で吸収できることはやっていきたい。ただ、多摩版だけ切抜くという作業については、データベース等も揃い、相互利用も可能なので、その事業自体見直しの時期に来ているとも考えている。
- 委員：中央にあるAVコーナーと同じようなものは新しい仲町図書館にできるのか。
- 事務局：床面積の関係から、中央と同じようなものは難しい。
- 委員：まずはAVの資料を充実させることが大切である。また、中央図書館の視聴覚室はどれくらいの利用があるのか。
- 事務局：講演会や講座などに利用している。
- 委員：AVの資料を充実させれば、学校に貸出しすることもできる。
- 委員：新しい仲町図書館は、複合施設で事務室も共有するとなっているが、どのようなのか。
- 事務局：具体的なことはまだ決まっていないが、公民館、図書館それぞれの機能が損なわれない、事務をきちんとこなせるスペースは取っていきたいと考えている。業者決定後、秋に住民説明会を行って意見をいただき、反映できるものは反映させたいと考えている。
- 委員：蔵書点検で、不明本の新規、継続という区別があるが、この他に何年も不明だったものが、見つかったというようなことはどれくらいあったのか。
- 事務局：統計的にははっきりしたところはわからないが、何年も前の不明本が、戻っていることもある。
- 委員：ブックトークをボランティアがやるのもいいが、技も必要であり専門の図書館員がやったほうがやはりいい。また、ボランティアがやる場合にマニュアルのようなものを作れば読書推進に一層効果があるのではないか。

## (2) 協議事項

なし

## (3) その他

なし

